

【ワクワク考古楽（出前授業）学習指導案】

令和5年2月8日（水）4校時11:55～12:45

屋久島町立中央中学校1年生47名

鹿児島県立埋蔵文化財センター

中野・上浦

1 4校時指導案

(1) 目標

発掘調査成果を中心に、遺跡や文化財、資料などを活用して、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史に果たした先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

(2) 実際

課程	子どもたちの活動	時間	センター職員指導及び支援内容	準備・留意点
導入	1 埋蔵文化財センターの仕事を紹介する。 2 本時の目標をつかむ 地域の歴史や遺跡、文化財について知ろう	10	○ 埋蔵文化財センターの仕事内容を簡潔に説明する。 ○ 「廃寺は語る事業」やその発掘調査について紹介する。	○ パワーポイント ○ 光台寺跡 ○ 照信院跡
展開	3 縄文時代のついて学習する。 ① 遺跡数を予想する。 ② 上野原遺跡を知り、鹿児島 の縄文土器の特徴を知る。 4 鹿児島で見られる火山灰を 学習する。 アカホヤ火山灰・薩摩火山 灰等の降灰が偏西風の影響を 受けていることを知る。	15	○ 全国のコンビニ数の約8 倍であることを説明する。 ○ 鹿児島を代表する遺跡の 上野原遺跡を紹介する。 ○ アカホヤ火山灰で、南九 州の環境が破壊されたこと を説明する。 ○ 火山灰で時代を区分して いることを説明する。	○ 上野原遺跡
	5 屋久島の縄文時代の遺跡に ついて紹介する。 6 中央中学校の周辺の遺跡に ついて紹介する。 7 実際の土器や石器に触れて みる。	10 10	○ 一湊松山遺跡を紹介し、 重要な遺跡が近くにあった ことを知る。 ○ 実際に発掘調査で見えさ れた遺物に触れてみる。	○ 一湊松山遺跡 ○ 遺跡地図 ○ 火之上山遺跡
終末	8 本時のまとめをする。 自分たちの地域の歴史的な 背景や先人たちの暮らしにつ いて考える。	5	○ 7300年以上前から、自分 たちの住む地域には人々が 暮らしていて、連綿と人々 の生活が営まれてきたこと 知る。 ○ 地域の歴史が教科書にあ る日本の歴史と密接に繋が っていることを説明する。	○ 一湊松山遺跡出 土土器・まいぶん キット

(3) 評価

- ・ 地域にある文化財や資料から、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史に果たした先人たちの働きについて理解できたか。